



4月号
2012

発行 頼成光寿会
第73号

紙上でお花見をどうぞ。いかるぎ館から不燃物集積場にかけての桜です

新会員十二人を迎えて 光寿会の平成二十四年度スタート

平成二十四年度光寿会定期総会が、三月十日
いかるぎ館に於いて開催されました。会長の八
田嵩さんをはじめ多くの役員の方々が二年目で
留任されたほか、新たに十二人の新会員を迎え
県内随一の加入率を誇る光寿会のますますの発
展が期待される平成二十四年度がスタートしま
した。新役員・新会員は別記の通りです。
総会では二十三年度事業・決算が承認された



光寿会総会 3月10日

三人以上の三人目から
と満八十八歳以上の会
員は千円とすることに
なりました。
総会後記念講演が行
われ、砺波警察署生活

季節のうた
農捨てぬ顔の揃いて花見酒

林香月子

あと、慶弔費十六万円
など総額五十七万円の
二十四年度予算と事業
が原案どおり可決され
ました。事業では、日
帰りお楽しみ会（六月）
秋の泊旅行（十月）ペ
タンク大会（九月）など
のほか、月刊広報刊行
生き生きふれあいサロ
ン「らんじよ浮世亭」
などの事業が継続実施
されることになりました
た。また、会則の一部
が改正され、毎年度の
予算の執行状況に合わ
せて定めることになっ
ていた年会費を、年額
二千五百円、同一家族



物止のたりに
ま井均先生

四月十七日（火）
お花見昼食会
やまびき荘 会費千五百円
日程など詳細は申
込み用紙付きチラ
シをご覧ください

坂東 玲子	坂東 兼重	北川 英明	正覚 政子	川原 中神	善導 林秀治	公文 林好則
光寿会新入会員	三門 宏史	八田 正晴	八田 美根子	串田 克博	林 晴江	

顧問 北條 蘇春	副会長 八田 嵩	庶務 齋藤 太佐雄	役員 八田 誓治	西川 敬子	北川 勝正	正覚 悦男	川原 山崎	善導 林崎	公文 武部 幹夫
林 邦子	林 悦男	宮下 美智子	林 時子	八田 誓治	林 邦子	林 敏子	林 敏子	林 敏子	板東 国香
									林 祥子



安全課の玉井均警部補の「オレ
オレ詐欺被害防止のために」と
題するお話がありました。あわ
せて詐欺の手法を分かりやすく
紹介したDVDが上映され、県
内でも年間二千万円以上に上る
という詐欺の被害防止への関心
を高めることが出来ました。
そのあと懇親会に移り二時間あ
まり和やかに歓談し、おわりに
林孝一元会長の発声で高らかに
万歳三唱をして閉会しました。



御忌・追悼会 24/03/11

蓮如上人
しのび
御忌法会

御忌の法要が三月十一日九時半よりいかるぎ館において営まれました。地区民約四十五人が参加、西慶寺、常称寺、南桂寺各任職さんとともに一同で正信偈をお唱えしました。続いて永年の慣例となつてゐる東本願寺二十世蓮如上人の御消息が読み上げられました。これは万延元年五月に上人が宮中に参内し、紫衣の着用を勅許されたのを機に、各地の講中に対して改めて弥陀の本願を説き聞かせたもので、そのあと南桂寺さんの法話が午後は男性物故者の法要が営まれました。また、東日本大震災一周年にあたることから、この災



日の遺徳をしのび供養した方々は次の通りです。

- 林 薫様 (釈至誠)
 - 荒木鐵夫様 (釈間一)
 - 八田駿一様 (香雲院釈駿恵)
 - 島 秀男様 (釈秀妙)
- その後、西慶寺さん、常称寺さんの法話をお聞きしました。なお、今回の当番は西川原常会の方々でした。お世話様でした。

害での多
くの死
者への弔
意もあ
わせて
冥福を
祈りま
した。
当日
在りし



四層目(水)から毎週水・土曜日の午後一時半より練習開始
参加自由です。仲間と共に気軽に軽スポーツを楽しみましょう。

平成二十三年度物故会員 (享年は教元年)

瀬成 瑛子 様	善 導	平成二十三年四月三日	七十四歳
八田 芳子 様	北 明	平成二十三年四月十三日	九十二歳
島 秀男 様	公文 名	平成二十三年五月三日	六十六歳
八田 駿一 様	正 亮	平成二十三年五月八日	八十九歳
斎藤 好子 様	川 原	平成二十三年六月七日	八十歳
荒木 鐵夫 様	善 導	平成二十三年六月十七日	八十九歳
林 薫 様	川 原	平成二十三年十二月十六日	七十九歳
八田 きみ子 様	正 亮	平成二十四年二月二十日	九十歳
八田 隆昌 様	北 明	平成二十四年二月二十四日	八十四歳

改めまして冥福をお祈り申し上げます。

いかるぎ 鶴木

春の選抜高校野球がはじまり、高校球児たちが熱戦を繰り広げています。今大会の選手宣誓は震災の被災地から二十一世紀の選手出場した石巻工業高校の阿部翔人主将でした。石巻は津波被害の真ん真ん中。地元で「石工」と親しまれる石巻工も校舎やグラウンドが水浸しになり地盤も沈下し練習もままならず、大阪に来てから練習試合などをこなして大会に臨みました。

開会式で阿部主将は「日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔。見せましょう！日本の底力、絆を。我々高校球児ができること、それは全力で戦い抜き、最後まであきらめないこと、そして」と力強く宣誓しました。選手全員が智恵を出し合って作った宣誓文でした。

高校球児たちのこの清々しい姿に比べ、絆どころか互いに足を引っ張り合っている政治家たちの姿を見ると、決断を先送りしている政治家たちの姿です。「我々政治家にできること、それは…」国民に対して選手宣誓ならぬ議員宣誓を聞かせて欲しいものです。

縁世亭だより

今月は三月恒例のスカット大会の第五回目、懐かしい歌を歌う会などが行われました。スカットの大会では三門明明子さんが第二回大会について二度目の優勝、高島夏子さんが二位、坂東泰子さんが三位を獲得されました。歌の会では「ほととぎす」「浜辺の歌」など、昔、口ずさんだことのある懐かしい歌や、「北国の春」などなじみの歌を、坂東国香さんや武部由美子さんのリードで、みんな楽しく歌いました。また、三門明外二さんから、厳照寺の法話の会での布教使のお話が紹介されました。

午後は阿弥陀経の朗誦と仏説観無量寿経の書写の第十二回目を行いました。



